

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 上河内 中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成30年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成30年4月17日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 理科, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 理科, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A	68	人	国語B	68	人
② 数学A	68	人	数学B	68	人
③ 理科	68	人			

5 留意事項

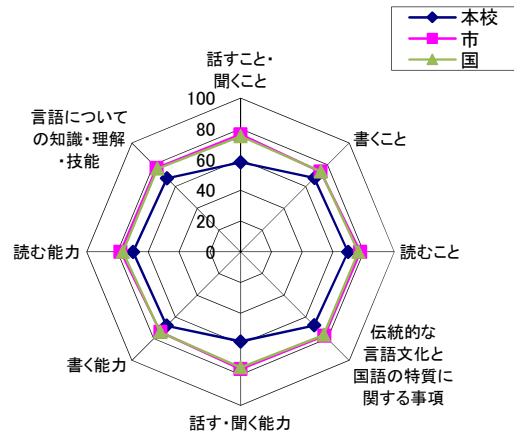
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、 「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立上河内中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

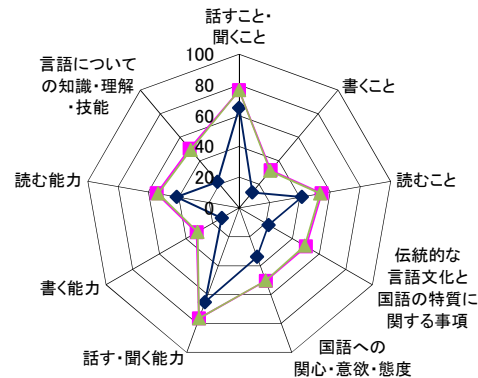
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	58.3	76.4	75.2
	書くこと	68.0	73.7	73.9
	読むこと	69.9	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	58.3	76.4	75.2
	書く能力	68.0	73.7	73.9
	読む能力	69.9	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	67.7	77.2	76.5



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	65.2	76.5	76.6
	書くこと	13.2	31.9	31.3
	読むこと	41.4	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	22.1	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	33.8	50.6	50.3
	話す・聞く能力	65.2	76.5	76.6
	書く能力	13.2	31.9	31.3
	読む能力	41.4	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	22.1	50.2	49.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

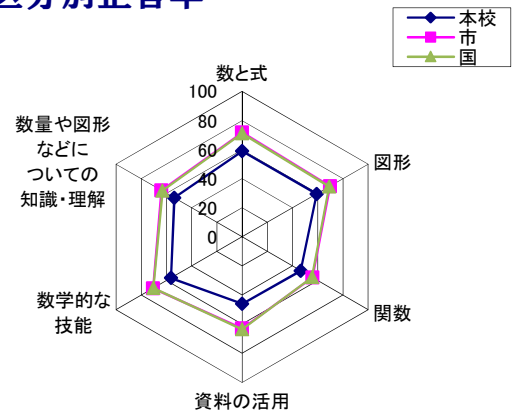
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aでは平均正答率が全国平均より16.9ポイント低い状況である。 ●国語Bでは平均正答率が全国平均より11.4ポイント低い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、実生活に結び付くような言語活動を多く取り入れ、聞いたことから更に自分の考えを整理する活動を意識して行っていく。 ・「意見発表」や「聞き方テスト」などを通して、意識して聴いたり、ポイントをメモしたりする習慣を身に付けさせていく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aでは平均正答率が全国平均より5.9ポイント低い状況である。 ●国語Bでは平均正答率が全国平均より18.1ポイント低い状況である。 ●話のあらすじを説明する文章を書く問題においては、無回答率が22.1%(国の平均より9.7ポイント高い)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」ことへの抵抗をなくすよう、自分の思いを短文に書かせる活動を授業中、多く取り入れる。作品の読解や作文単元を通して、「感想文」「要点・要旨のまとめ」「意見文」「主張文」など様々な文種を書かせる。また、一つ一つの言葉を意識し、適切な言葉を選択させる活動も多く取り入れていく。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○主語を選ぶ問題においては、全国平均より平均正答率が2.7ポイント高い。 ●国語Aでは平均正答率が全国平均より6.8ポイント低い状況である。 ●国語Bでは平均正答率が全国平均より12.1ポイント低い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語、論説文などを読むことに関しては、比較的抵抗なく取り組むことができているが、実生活に結び付くような資料の読み取りについては苦手意識が見られる。教科書のテキストだけでなく、発展的な資料も読み取るような言語活動を多く取り入れていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aでは平均正答率が全国平均より8.8ポイント低い状況である。 ●国語Bでは平均正答率が全国平均より27.1ポイント低い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字」や「語彙」を知ってはいても、それを日常生活で適切に使いこなせていない状況が見て取れる。今後も理解し、それを使えるような指導を継続的に行っていく必要がある。

宇都宮市立上河内中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

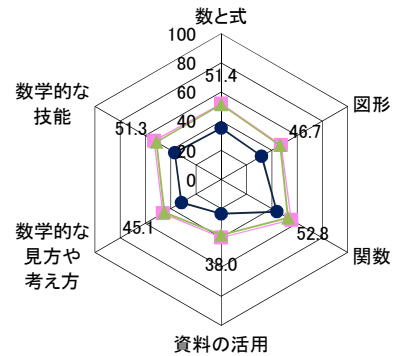
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	58.9	71.7	71.1
	図形	59.2	69.7	69.1
	関数	46.5	55.8	55.5
	資料の活用	46.0	62.9	63.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	56.4	70.6	70.4
	数量や図形などについての知識・理解	53.8	64.0	63.3



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	35.3	52.0	51.4
	図形	31.9	47.3	46.7
	関数	44.1	55.4	52.8
	資料の活用	23.5	39.8	38.0
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	31.6	46.3	45.1
	数学的な技能	36.8	53.1	51.3
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

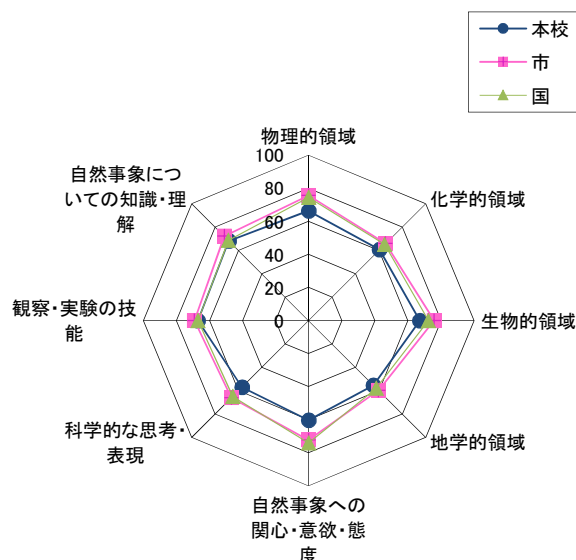
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○数学Aでは、「絶対値が6である数を書く」問題では県より7ポイント高い。 ●数学Aの平均正答率は全国平均より12.1ポイント低い。●数学Bは16.1ポイント低い。記述式の無回答率が40%以上である。	・基礎的基本的な計算を正確に解けるようにする。 ・用語など、出てきたときに意味を確認する。 ・文章から読み取りや、文字が何を表しているのかについて自分の考えを論理的に説明する問題を授業で行い、学び合い活動を増やし、理解を深める。
図形	●数学Aの平均正答率は全国平均より9.9ポイント低い。 ●数学Bの平均正答率は14.8ポイント低い。	・3年生で「相似な図形」「円」の単元において、図形用語、定義や定理、証明の書き方など、1、2年生の内容も踏まえながら指導にあたる。 ・証明問題や図形と関数に関わる発展問題に取り組む機会を増やし、活用する力を身に付けさせる。
関数	●数学Aの平均正答率は9ポイント全国平均より低い。 ●数学Bの平均正答率は8.7ポイント全国平均より低い。 ○数学Aの「歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ」問題では9.2ポイント全国平均より高い。 ●数学Aの問題では他の領域に比べて無回答率が高い。	・3年生で「2乗に比例する関数」の学習の際に、比例・反比例、1次関数の既習事項の復習を繰り返し指導する。また、表・式・グラフを関連させながら、それぞれのよさを生徒に気付かせる。 ・変域や増加量など用語の意味と求め方についても復習する。
資料の活用	●数学Aでは全国平均より17.5ポイント低い。 ●数学Bでは全国平均より14.5ポイント低い。 ●数学Bにおいて、この単元だけにかかわらず、文章や表を読み、文章の意味について読み取る力が弱い。複雑な計算をしなくても出る問題も何を答えるべきかが分からなくなってしまう。	・3年時の標本調査の単元において、資料の整理と活用、確率のなど1・2年生の復習を確実に取り組む。 ・問題を解くだけでなく、実生活にも活用できる事象を授業で取り入れ、学習したことを活用したり説明したりする機会を増やす。 ・文章から表が何を表しているのかを読み取り、考える力を育成する。問題文をよく読むことを指導していく。

宇都宮市立上河内中学校第3学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物理的領域	66.4	75.7	74.4
	化学的領域	60.7	65.8	65.0
	生物的領域	67.2	75.9	72.5
	地学的領域	55.5	59.8	57.8
観点	自然事象への関心・意欲・態度	60.3	72.3	74.0
	科学的な思考・表現	57.0	66.0	64.9
	観察・実験の技能	66.9	69.1	67.0
	自然事象についての知識・理解	68.2	72.1	68.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物理的領域	<p>平均正答率は全国、市ともに9ポイント低い。</p> <p>○電流計や電圧計の回路の接続方法は全員が実験できるように工夫したり、電気用図記号も出題する場を設けた結果、全体としては低いが、この単元は、5ポイント正答率が高い結果となった。</p> <p>●実験結果を読み取る力や、オームの法則から抵抗の値を求める内容が無回答率が全国平均より倍近く高くなっており、書かせることが課題である。</p>	<p>・実験・観察については全員が活動できるように工夫するとともに、基礎的な計算問題を繰り返し行い、生徒の状況に応じて応用問題も解決する力も身に付けられるようにする。</p>
化学的領域	<p>平均正答率は全国、市ともに5ポイント低い。</p> <p>○ガスバーナーの使い方や水溶液の濃度の違いなどの実験内容の正答率が全国や市よりもやや高い。</p> <p>●実験を計画する際に、条件を設定することができず、無回答率が全国、市より倍以上高くなっている。物事を考えさせることが課題である。</p>	<p>・実験・観察については全員が活動できるように工夫するとともに、実験計画で条件を設定する理由について、考えさせ、発表や書く内容の充実を図る。さらに、基礎的・基本的な知識の定着を図る。</p>
生物的領域	<p>平均正答率は全国では4ポイント、市では9ポイント低い。</p> <p>○動植物については、基礎的な語句や分類等はできている。</p> <p>●実験観察において、設定条件を変えると、どのような結果になるのか予想することができず、無回答率が全国、市より高くなっており、推測させることが課題である。</p>	<p>・重要語句等の基礎的・基本的内容を定着させるとともに、さらに実験観察においての計画や仮説を立て、実験し、結果をまとめ、考察するというPDCAサイクルの充実を図る。</p>
地学的領域	<p>平均正答率は全国では2ポイント、市では4ポイント低い。</p> <p>○風向の観測結果から、ある位置の風向を予測したり、気団の特徴についての知識については、全国、市より正答率が高かった。</p> <p>●天気シミュレーションから、台風の動き方について説明する思考の無回答率が全国、市より高くなっており、推測させることが課題である。</p>	<p>・重要語句等の基礎的・基本的内容を定着させるとともに、さらに実験観察においての仮説を立てたり、推測させ、書かせるといった取組を充実させる。</p>

宇都宮市立上河内中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

肯定的な割合

	主な質問と回答内容	本校	栃木県	県との差	全国	全国との差
1	自分には、よいところがあると思いますか	86.7	82.9	3.8	78.8	7.9
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.7	87.8	4.9	82.2	10.5
3	将来の夢や目標を持っていますか	91.2	77.7	13.5	72.4	18.8
4	学校の規則を守っていますか	94.1	96.2	-2.1	95.1	-1.0
5	いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか	98.2	97.0	1.2	95.5	2.7
6	人に役立つ人間になりたいと思いますか	97.1	96.5	0.6	94.9	2.2
7	朝食を毎日食べていますか	94.1	93.3	0.8	91.9	2.2
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.0	77.2	-2.2	74.2	0.8
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	92.7	-1.5	90.3	0.9
10	家で、自分で計画を立てて勉強していますか	76.5	59.4	17.1	51.5	25.0
11	家で、学校の宿題をしていますか	91.2	92.8	-1.6	91.6	-0.4
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	72.0	67.5	4.5	55.2	16.8
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	77.9	76.0	1.9	71.3	6.6
14	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾や家庭教師の時間も含む) →2時間以上の回答割合	41.2	36.8	4.4	36.4	4.8
15	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	78.0	79.7	-1.7	76.0	2.0
16	1,2年までに受けた授業や課外授業で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	73.6	75.9	-2.3	68.7	4.9
17	今すんでいる地域の行事に参加していますか	57.4	48.4	9.0	45.6	11.8
18	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	61.8	65.3	-3.5	59.3	2.5
19	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	60.3	45.1	15.2	38.7	21.6
20	地域社会などボランティア活動に参加したことがありますか	78.0	76.3	1.7	73.4	4.6
21	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	25.0	26.8	-1.8	25.5	-0.5
22	新聞を読んでいますか	16.1	14.6	1.5	13.9	2.2
23	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	91.2	88.5	2.7	86.6	4.6
24	1,2年生のときに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	83.8	78.1	5.7	73.8	10.0
25	1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	57.3	58.9	-1.6	53.8	3.5
26	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	70.6	80.0	-9.4	76.3	-5.7

○良好な状況がみられるもの ●課題が見られるもの

○No.1・2・31においての自分自身に関する肯定的回答率は、全国、県平均を上回った。特に「将来の夢や目標を持っていますか」においては、全国と18.8%、県とは、13.5%上回った。今後とも自己肯定感や自己有用感を高められるように、スタンダードダイアリー等を活用しよい点を認め支援していきたい。

○No.10・12・13・14・241においての学習習慣に関する肯定的回答率は、全国、県平均を上回った。特に「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」においては、72%の回答率であった。これは、全国と16.8%、県と4.5%上回った。また、「平日の学習時間は？」という質問に2時間以上と答えた生徒は、41.2%であった。これは、全国と4.8%、県と4.4%上回った。引き続き家庭学習ノートの提出等で、学習習慣を身に付けさせたい。

○No.17・19・201においての地域に関する肯定的回答率は、全国・県を上回った。「地域社会などボランティア活動に参加したことがありますか」においては、この地域ならではの祭りや福祉関係のイベント、体育祭に関心をもち、積極的に参加したり、ボランティアとして活動する機会が多い。今後も地域の行事に関心をもち、どう関わられるかなど考えさせ、地域に貢献させていきたい。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」では、全国より21.6%、県より15.2%上回った。今後も地域社会に貢献することができるように地域との関わりを密にし、積極的に行事やボランティア活動に参加させていきたい。

●No.41においての肯定的回答率は、全国より1.0ポイント県より2.1ポイント下回った。またNo.8・91において全国より僅かに上回ることができたが、県より下回った。基本的な生活習慣や規範意識を高め、規則正しい生活リズムを確立させたい。

●No.251においての肯定的回答率は、全国より3.5ポイント上回ったが、県より1.6ポイント下回った。No.261においての肯定的回答率、全国より5.7ポイント、県より9.4ポイント下回った。本校では、「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」を研究テーマに掲げている。今後も学級やグループの中で自分たちで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、自分の意見の発表力や思考力の向上に繋がるような場を設定し、継続して授業を展開していきたい。

宇都宮市立上河内中学校（第3学年）学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を高め、自分の考えを伝え学び合うことのできる生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を高め、自分の考えを伝えるために、各教科等で「書く時間」を重視した授業を展開する。 ・話し合い活動や、グループ活動、発表の機会を意識的に授業中の必要な場面に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「最後まで書こうと努力したか」では、肯定的回答が55.9ポイントと全国平均を6.9ポイント下回った。 ・「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思うか」の質問の肯定的回答は71.6ポイントで、全国平均を6.3ポイント下回った。否定的回答も10.3ポイントと全国平均を4ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の勉強を好きだ、大切だ、勉強ができるようになりたいとの肯定的回答は全国平均よりも上回っている。意欲はあるが、基礎的、基本的な内容の定着がなされていない。 ・平均をかなり下回る生徒が多数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的内容の定着を図る。 ・家庭学習を充実させるための課題の出し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」は、授業中だけでなく、スタンダードダイヤリー等を活用し、日常生活の中でも話の要点を捉えて分かりやすく書くことを意識させて取組ませる。 ・家庭学習ノートをより一層活用し、ドリル学習に取組ませる。また、一人一人の学習状況を把握し、学習状況に応じた課題に取組ませるようにする。